

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)島忠ホームズ大和店	階数	地上5F
建設地	大和市上和田字寺ノ上2670-1,-2,-4	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	1,100 人
気候区分		年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年5月	評価の実施日	2012年11月26日
敷地面積	10,806 m ²	作成者	(株) 石本建築事務所
建築面積	7,543 m ²	確認日	2012年11月28日
延床面積	26,509 m ²	確認者	(株) 石本建築事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 39%

上記+ 以外の: 60%

上記+: 60%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.8**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

視環境 音環境 温熱環境 空気環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境 まちなみ 地域性

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.4**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	ホームセンターとして華美な装飾をせずコストを抑えるため、必要な仕様の材料を仕様し無駄のない環境設計を目指す	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・室内換気を確保し清潔な室内環境を整える。 ・売場部分は個別空調によりエリア毎にコントロール出来るように計画する。	高齢者等バリアフリーに対応した施設づくりを心がけ、エントランス・エレベーター等の共用スペースや授乳室を設け、顧客の要望に対応した施設づくりを目指す。	・振動、騒音、粉塵対策として売場の空調機の屋外機の位置は、住宅の多い西側を避け、東側の国道側に寄せて配置することにより隣地へ出来るだけ影響が出ないように配慮する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物の熱負荷(PAL)の抑制、屋上緑化を含めて敷地の緑化に努め、近隣環境への配慮を行う。	・法で決められた有害物質となる材料は使用しない。 ・Fの製品を使用する。 ・使用材料の種類を少なくしライフサイクルコストの低減に努める。	・雨水は全て敷地内での浸透処理を行う。 ・十分な台数の自転車置場を確保する。 ・従業員専用駐車場、荷捌駐車場を確保する

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される